

事務事業名	高齢者生活支援ハウス運営事業		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	高齢者福祉G	課長名 熱田 小百合
	施策名	〈21〉高齢者福祉の充実		担当者名	高橋 雄司	電話番号:0854-40-1042 (内線):2151
	目的・対象	65歳以上の市民	意図	生きがいを持って、住み慣れた地域で安心して暮らす。		
	基本事業	〈060〉地域ケア体制の充実		予算科目	会計 0:1150:4 款 大 0:4 目 中 0:4 項 中 0:4 目 中 0:4 業 中 0:4 名 中 0:4	在宅福祉事業 高齢者生活支援ハウス事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
60歳以上の一人暮らしの方や夫婦のみの世帯の方、家族による援助を受けることが困難な方であって、加齢等により自立して生活することに不安のある方	一時的に住居を提供し、住み慣れた地域での在宅生活を継続する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	加齢のため在宅で生活することに不安のある60歳以上の者に、一定期間住居を提供し生活を支援する。 (1)利用対象者 原則として、雲南市に居住する60歳以上者、一人暮らしの者、夫婦のみの世帯に属する者、家族による援助を受けることが困難な者、ほぼ身の回りのことが自立している者であって、加齢等のため在宅で生活することに不安のある者 (2)事業の実施 ①吉田町ケアポートよしだ(個室-5、2人部屋-3)よしだ福祉会と事業委託契約 ②掛合町好老センター(個室-6、2人部屋-2)雲南市社会福祉協議会と指定管理契約
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①利用の相談と利用者の決定 ②利用料の徴収(ケアポート分のみ) ③事業委託の契約と委託料の支払	要介護1までを利用要件としていたが、令和4年12月から状態により受入可能であれば要介護2まで利用可とした。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 実利用者数	人	19	18	25	26
イ 年間利用延べ日数	日	3,409	2,362	2,999	3,000
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	財源内訳	② コストの推移					
		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)	
事業委託料 10,527千円(吉田町)		国庫支出金	千円				
指定管理委託料 9,445千円(掛合町)		県支出金	千円				
【その他財源】 老人福祉サービス利用料 443千円		地方債	千円				
		その他	千円	797	252	443	276
		一般財源	千円	18,930	19,491	19,529	22,188
	事業費計	千円	19,727	19,743	19,972	22,464	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	一時的に住居を提供し、住み慣れた地域での在宅生活を継続することができる。
② 事業実施するうえでの課題	住み慣れた地域での在宅生活を継続されたい方が、身体機能の低下により地域を離れて暮らさざるを得ない状況がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	令和4年度に見直しを実施し、身体状況より要介護2まで利用可とした。これにより、住み慣れた地域での在宅生活を継続されたい方への柔軟な対応が可能となった。